



Apple クラスルーム 管理のキホン



現代のクラスルーム管理とは

クラスルームにおける学習プロセスの管理はこれまでも先生の仕事でした。先生は生徒を学習に集中させるテクニックを多く持っています。しかし、現代のクラスルームではこれにデジタル管理が加わるため、このことを不安に思う先生も少なくありません。

しかし、心配は無用です。効果的なデジタル管理は、逆に先生の負担を軽減してくれます。

テクノロジーを活用したアクティブラーニング

大切なのはITのスキルを教えることではなく、直感的なアプリやツールでアクティブラーニングを可能にし、ダイナミックな学習環境を構築することです。最高レベルのテクノロジーを活用することで、コラボレーションを通じた学習や実践的な体験が盛り込まれ、生徒一人一人に寄り添った形のレッスンが実現し、やる気とクリティカルシンキングを養うことができます。

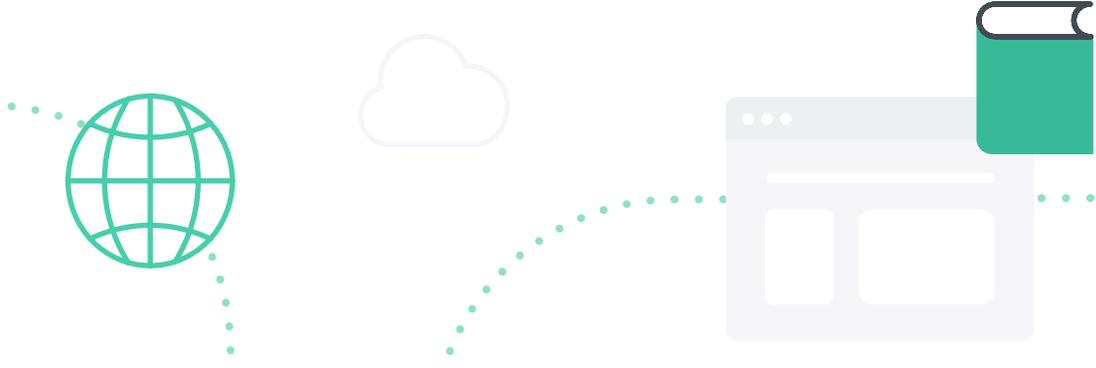




教育者が直面するデジタルクラスルーム管理の課題

学習体験の管理に苦勞する先生は少なくありません。

学校の管理者から学区の指導者、保護者まで、今日の教育関係者たちは、授業のプランニングや指導に加え、高い期待とプレッシャーに直面しています。異なる学習ニーズを持つ生徒をサポートし、その助けとなるテクノロジーについて最新の知識を持ち続けることは、IT部門にとって大きな課題となっています。



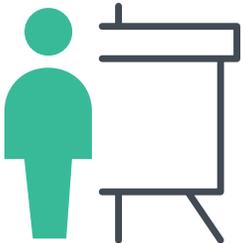
レッスンの準備を例に取ってみましょう

生徒が集中できるレッスンを用意するためには、クリエイティブで魅力的かつ飽きのこない内容にしなければなりません。

自主的な学習を許しつつ、教室での問題行動を防ぐにはどうしたらいいのでしょうか？追加のサポートが必要な生徒や、もっと先に進みたい生徒を支援するにはどうしたらいいのでしょうか？

また、何時間にもわたるテクノロジートレーニングを受けずに、どうやってこれらすべてを実行するのでしょうか？すべてを簡単に叶えてくれるソリューションがあれば話は別ですが...

そこでお勧めしたいのが、**Jamf Teacherアプリ**や**Appleのクラスルームアプリ**と、Jamf SchoolやJamf Proなどのモバイル管理 (MDM) プログラムの併用です。



最高のコンビネーション



Jamf Teacher

レッスンプランニングと
クラスルーム管理

レッスンの準備

- オンラインまたはiPadで特定のアプリやウェブページを含んだレッスンを準備
- シンプルなQRコードスキャンで複数のユーザープロファイルを同じデバイスに割り当て、共有iPadを個別に管理(生徒はサインインするだけで、前回の続きから学習を始めることが可能)

生徒のやる気と集中力の促進

- 試験などの際に生徒が集中できるように、アプリ、スペルチェック、オートコレクト、インターネットなどの使用を一時的に制限したり、必要のないアプリを非表示にしたりすることが可能
- 読み書きや学習の目標達成に向けてスペルチェックやオートコレクトを無効化
- 生徒デバイスを一時的にロックし、注意画面を表示することで注意を喚起

生徒とのコミュニケーション

- 特定の生徒やグループにメッセージを送信
- アドホックセッション機能を使って場所を問わず授業を開催(画面を数回タップするだけで生徒がどこにいても授業を開始可能)



Appleクラスルーム

生徒と教師間の
デジタルインタラクション

レッスンの準備

- 特定のグループや生徒のために個別レッスンを作成
- ワークシート、プレゼンテーション、課題の詳細、宿題などのファイルを生徒と教師の間で共有

生徒のやる気と集中力の促進

- AppleのブックやSafari経由で魅力的なコンテンツを提供
- Apple TVで生徒の成果物を共有
- サウンドをミュートまたは画面をロックして生徒の注意を喚起、もしくは生徒が一斉に作業に集中できるようアプリを一度に起動またはロック
- 教師のデバイスで生徒の画面を表示して進捗を確認し、必要に応じてサポートを提供

クラス終了後

- 授業中の生徒のアクティビティの概要を確認
- 管理対象Apple IDで生徒が忘れたパスワードをリセット

この2つのツールは非常に相性が良く、教師が必要とするリソースへのアクセスを提供しながら個人やグループの学習をサポートすることが可能です。これにより、レッスンのプランニングに加え、生徒間だけでなく教師間のコラボレーションもシンプルになります。これらすべてが、生徒や教育者にとって使い勝手の良い、直感的で安定したインターフェースで提供されます。

これらのツールの活用法

活用例

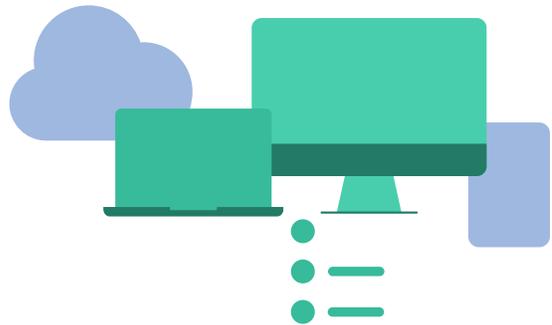
ここでは、クリエイティブ・ライティングの課題に取り組む生徒のサポートを例に取って見ていきましょう。生徒が具体的にを行うタスクは以下のとおりです。

- トピックの研究
- 研究に基づいた短い俳句を作る
- 画像やサウンドで俳句を演出する



レッスンのプランニング

1. まずは、創造性や研究を支援するSafari、Notes、Pages、iMovieなどのアプリの使用が許可されたレッスンをJamf Teacherアプリで作成します。
2. 次に、生徒がインターネット検索に時間をかけなくても適切なコンテンツを見つけられるよう、便利なウェブサイトをいくつか追加しておきます。
3. 最後に、生徒が正しいスペルを使って自分の言葉で表現できるように、スペルチェックとオートコレクトをオフにします。



レッスン中の作業

レッスンが始まったら、先生がJamf Teacherを通じて生徒のiPadにレッスンを配布し、タスクについて説明します。次にクラスルームAppを起動し、生徒が行なっている作業を確認し、必要なタイミングで介入できるようにします。

生徒たちは、教師が選んだリサーチ用サイトやアプリを利用して、自主的かつ創造的に学習に取り組むことができます。これにより、デバイス上で必要なものを探す時間を削減すると同時に、生徒のやる気と集中力を引き出すことが可能になります。また、追加のサポートが必要な生徒は、Jamf Studentアプリを通じて教師にメッセージを送ることで、クラスの邪魔をすることなくサポートを受けることができます。

Jamfと相性の良いその他のツール

Jamfは、多くの学校で愛用されている複数の教育ツールとシームレスに統合しています。



Explain Everything



GeoGebra



Showbie



Desmos



Socrative



Kaligo

[教育者や学校のIT部門向けのその他の統合ツールについて詳しく見る](#)

プレゼンテーションとグループフィードバック

レッスンの最後に、生徒がクラスルームAppからAirDrop経由で成果物を提出します。これをApple TVでクラス全体に見せることで、グループフィードバックを得ることが可能です。このようなプレゼンテーションやフィードバックの時間には、生徒が集中力を維持できるように、デバイスをロックしておくのも良いでしょう。

教師の理解と生徒の進歩の向上

このプロセスには、生徒一人一人の学習の進捗状況がよりよく可視化されるというメリットがあります。生徒は、必要な情報に素早くアクセスし、自分のペースで学習し、必要なときに助けを得ることができます。そして教師は、生徒の成果物を簡単に集めて、採点や保管を行うことができます。



Jamfの教育へのコミットメント

初めてAppleテクノロジーの導入を検討している場合でも、すでにiPadやMacデバイスを教師や生徒に提供している場合でも、Jamfは世界中の教育機関がEdTech(教育テクノロジー)を最大限に活用できるようお手伝いします。



[Jamfのトライアルに申し込む](#)

またはお近くの販売代理店まで
お問い合わせください。